

10804石油製品・石炭製品製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	20 ～ 21	原料（メタンスルホン酸、融点20° C）のドラムを仕込み時、仕込み配管が閉塞していたため、滴下槽上部の配管フランジ部を解体したところ、当該部分からメタンスルホン酸が飛散し、顔面下部、両前膝部、両大腿部に薬品薬傷を負った。	41	4	514	300 ～ 499
2	2019	2	6 ～ 7	車庫で大型ダンプ運転席から降りる際に落下し、左大腿部を骨折した。	51	1	221	1～ 9
3	2019	2	14 ～ 15	合材サイロスキップの横で、サイロスキップ下の防油堤を通り過ぎて、ミキサー下に向かう途中、付着防止剤の配管に足を引っ掛けて体のバランスを崩しよろめき、サイロスキップレールに右手をついたとき、動いていたスキップの滑車に手が挟まり、右手薬指と小指を骨折した。	61	7	391	1～ 9
4	2019	4	15 ～ 16	砂運搬用のバケットを上昇させるため、操作盤スイッチをONにした後、ワイヤーのたるみを覚知して、咄嗟に左手でワイヤーを掴んだところ、巻き取り装置に巻き込まれ小指を骨折、人差し指の血管を損傷した。	63	7	229	100 ～ 299
5	2019	6	15 ～ 16	製袋室のVノッチ機前で、新人にVノッチ入れ作業の指導をしていた。製品をセットし表面をならしているとき、Vノッチ機の刃が下りてきた。足踏みスイッチの上に足を載せていたため誤って起動し、刃の下に入れていた中指に裂傷を負い、骨折した。	28	7	159	100 ～ 299

6	2019	7	14 ～ 15	工場で裁断台にシート生地を広げ裁断していた。裁断台から生地が垂れさがるように広げて作業をしていたため、まだ裁断台があると思い足を踏み外し裁断台から後ろ向きに落下し、尾骨を折り、左関節を捻挫した。	30	1	391	30 ～ 49
7	2019	8	13 ～ 14	従業員控室から外へ出る階段を下りた際に、石に乗ってしまい左足首をひねり、骨折した。	51	19	711	50 ～ 99
8	2019	12	8 ～ 9	アスファルトプラント工場内で、ベルトコンベアーを動かしながら、駆動部チェーンのグリスアップを行っている際に、チェーンに右手を挟み、右手を骨折した。	32	7	224	10 ～ 29
9	2019	12	13 ～ 14	休憩室で年末の掃除中、窓枠と暖炉に足を掛けて上部のクモの巣を取ろうとした際、約70cmの高さから落下して壁と暖炉の間隙（約50cm）に転倒し、暖炉の端に顔面・左肋骨・頭部・頸部を打ちつけて負傷した。	72	1	418	10 ～ 29
10	2019	12	7 ～ 8	油配管のノズル配管に詰まった物を除去後、器具を取り外したところ、バルブが完全に閉止されておらず熱い油が噴出して体に掛かり両大腿部に熱傷を負った。	38	11	321	300 ～ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。